



今年も、町内の中学3年生12人が、夏休みを利用してニュージーランドに行き、異国の文化や生活習慣を体験しました。参加者からの報告です。

平成23年度中学生海外派遣事業に参加して

教育次長（派遣団团长）

金子 富太

本年度の中学生海外派遣事業は8月19日から28日までの10日間の日程で行われました。参加者は佐賀中学校7人、大方中学校5人、引率4人の計16人の派遣団でした。

8月19日の早朝、佐賀庁舎で出発式を行い、家族の方たちの見送りを受け出発しました。高知空港では、羽田空港が雷雨のため出発時間が予定より1時間30分遅れました。この遅れが響いて羽田空港から成田空港、そして出国手続

きと慌ただしく進みました。18時15分に成田空港をニュージーランドへ向けて飛び立ち、機中泊の約11時間の長旅でした。

20日（土）、北島のオークランド空港へ朝8時頃に到着。外に出てみると出発前に聞いていた大雪の情報とは違い、半袖のままでも大丈夫ぐらいの暖かさで気候はとも良く穏やかでした。



入村の儀式が終わると、マオリ族の住んでいた家の紹介や、ハンギ料理の紹介と実演と続き、最後のマオリ族の歌と踊りはその迫力に圧倒されるものがありました。

21日（日）、ホテルを出発し一路ハミルトン市のフェアフィールド中学校を目指します。中学校に着くと、ホームステイ先の方

やイアン先生が出迎えてくれました。日曜日なので行事は無く、生徒たちはそれぞれのホームステイ先へ別れて向かいました。

22日（月）、学校初日で歓迎式をホールで行ってくれました。

生徒は全員元気に登校していましたが、これからの歓迎式にやや緊張していました。



最初に厳かな歓迎儀式が行われ、中学校の合唱、派遣団の「上を向いて歩こう」の合唱と続き、マオリ族の歌と踊りが披露されました。次に校長の歓迎のあいさつの後、派遣団からは生

徒を代表して山本君が英語で素晴らしいスピーチを行い、団長と大方中学校の亀谷教頭があいさつを行いました。それから、各国留学生の国の紹介と続き、派遣団も生徒が代わる代わる黒潮町の紹介などを映像で行いました。

歓迎式の後には、生徒はホームステイ先の子どもと一緒にクラスで授業を受けました。

1時間目が終わった休み時間に、フェアフィールド中学校の生徒が売店で買い物をしていました。子どもたちは2m位離れた線のところまで2列に並んで順番を待ち、名前を呼ばれたら一人ずつ前に出て買っていました。こうしないと買えないとのこととありますが、自主的にルールを守っていることにとっても感心しました。

昼休みには、図書室で生徒が折り紙をして鶴の折り方を紹介して交流をしました。生徒の周りにはフェアフィールド中学校の生徒たちが集まり、大変にぎやかな折り紙の講習会場となりました。



海外へ行くと、その国の文化を知る前に、自分の国の文化を知っていないと紹介ができないし、ちょっとしたことでも身に付けておくと、コミュニケーションのツールとなると思ったことでした。

午後は、ESOL（英語を母語としない生徒のための授業）を学校滞在の4日間は特別に組んでくれました。生徒は授業が終わると、ホームステイ先の子どもと一緒に帰っていききました。

フェアフィールド中学校の教室は、広い敷地の中に平屋の建物が別れて建っており、先生方のいる建物とは別になっていました。学校の設備は、放送設備、パソコン、広い図書室、歓迎式が行われたホール、再建中のシステムなど充

実しており、外には陸上競技場が入る一面芝生の広いグラウンドや、テニスコートなども整備されていました。

フェアフィールド

中学校の生徒たちは、元気があり積極的に行動していました。

授業は自由な雰囲気で行われており、生徒の自主性を生かした生徒自らに考えさせるような内容でした。

また体育の授業でも、体を動かすゲームや、走るのも決めた時間内で生徒それぞれの能力に合わせて自由に走らせていました。

23日(火)、生徒たちはホームステイ先の子どもと一緒に登校し、同じクラスで授業を受け、午後は派遣団の生徒が集まって英語の授業を受けました。

24日(水)は校外学習があり、1時間目の授業の後、ドンキーファミリーとキヤンデイ工場の見学を楽しみました。



25日(木)、フェアフィールド中学校での最終日には、歓迎式で披露出来なかったよさこいソーランの発表の場を、学校側の配慮で用意してくれましたので、昼食後にリハーサルを行い、生徒たちは青空のもと大漁旗で作ったハッピーを着て元気に踊りました。

26日(金)、朝8

時にフェアフィールド中学校前に集合し、ホームステイ先の方や学校の先生方とお別れをし、見送りを受けてオークランドへ向かいました。オークランドでは、記念公園やオークランド博物館の見学、土産物のショッピングなどを楽しんでいました。

27日(土)、6時にホテルを出発しオークランド空港へ向かい、飛行機で約11時間後に成田空港に到着しました。

翌28日(日)には空路で高知龍馬空港へ。迎えのマイクロバスに乗り14時30分佐賀庁舎へ帰りました。

今回の海外派遣では、天候に恵まれましたし、何よりも派遣団の誰もが体調を大きく

崩すこともなく、現地での事故もなく帰ってこられたことが何よりでした。また、日程の変更はありましたが予定した事業はほぼできました。これも生徒たちが日程を把握して団体行動ができたことによるものだと思います。

今回の海外派遣事業も短い間ではありましたが、生徒たちは海外の学校生活やホームステイなど貴重な経験をしました。この経験をこれから繋げて、国際的な視野と幅広い心を持った人材に育ってほしいと思います。

最後に、この事業を実施するにあたり、ご理解とご協力をいただきました多くの皆さんにお礼を申し上げます。



ニュージーランド研修に行つて

佐賀中学校 3年 山本 祐希

僕は今年の夏休みにニュージーランドへ研修に行つてきました。10日間というあっという間の時間でしたが色々なことを学ぶことができました。ホームステイさせていただいた家族の人にもやさしくしてもらったし、笑顔で歓迎してくれたので本当にうれしかったです。

今回の研修で一番印象に残っていることは人のやさしさです。初めてのことはばかりで戸惑っていた僕にたくさんの方がやさしく声をかけてくれたり、分からないことを教えてくれたのですごくうれしかったです。それに今年東北で起きた大震災のことを知っている人が「日本は大丈夫なのか」「君の家は大丈夫なのか」と言ってくれました。やさしさというのは国を越えてもあるんだと自分自身で実感することが出来ました。

この研修は自分にとってすごく良い経験になったと思います。欲を言うならもう一度ニュージーランドへ行きたいです。

ニュージーランド研修

佐賀中学校 3年 竹中 陽向

今回ニュージーランドに行つてみて、初めは不安だらけでした。言葉の違いや文化の違い、いろいろな不安がありました。でも実際行つてみて、初めは、言葉とかまったく分からなくてどうしようかと思つたけど、ホームステイ先のお父さんとお母さんが私にも分かるようにゆっくり話してくれて、だんだん分かるようになっていきました。学校先の人たちも日本の人がすぐくめずらしいみたいで、フレンドリーに話しかけてくれました。

文化の違いで一番びっくりしたのは食べ物です。想像していた以上に甘いものが多かったです。一番辛かったのも食べ物だったかもしれません。ニュージーランドの人は、とにかく明るくて、優しく、温かい人がたくさんいました。思ったことは、英語がうまく話せなくても、コミュニケーションがとれば仲良くなれるということです。私は今回ニュージーランドにも友達が出来ました。本当にいい経験でした。

ニュージーランド研修に行つて

佐賀中学校 3年 土居 虹介

僕がニュージーランド派遣事業で学んだことは2つあります。

1つ目は積極性です。前から積極的ではあったけど、前よりもより積極的になれました。それは外国の人たちと話したこと、「のどが渴いた」や「眠たい」などは伝えないと分からないことで、そのおかげです。それと積極的になつたおかげでニュージーランドで会つた日本人とも話せました。

2つ目は、英語の大切さです。元々僕の苦手教科は英語で、その英語を苦手ではなく、好きになるようにこの派遣事業に取り組みました。「YES」「NO」だけでも話せないこととはないけど、それでは言葉のバリエーションが少なく会話にならないと思えました。

今、英語は好きな教科で、将来また外国に行くためにも英語は勉強したいです。僕にとってそう思えた派遣事業でした。



海外派遣事業を終えて

佐賀中学校 3年 藤本 陽菜

私は今回の海外派遣事業を通してたくさんのかを学べました。自分にとっては、海外に行くことも長期間家族や友達と離れて暮らすことも初めての経験で不安な気持ちでいっぱいでした。でも、私が思っていた以上に現地の人たちは優しくフレンドリーで良い人ばかりで安心しました。

特に私が印象に残っているのは、4日間行つた学校訪問でした。授業風景は日本とは全く違ってみんなコンピューターを使っていて、各自で勉強をしていました。すごい自由でみんな楽しそうに授業をしていてとてもうらやましかったです。私たちが何をしていたのか戸惑つたときも必ず声をかけてくれたり、笑わせてくれたり、みんな良い人たちでした。

私はこの派遣事業で自分の英語力の無さもよく分かつたし、「当たり前」の幸せにも気づくことができました。この経験を無駄にせず、これからの生活、人生に役立てていきたいと思えます。

ニュージーランド研修に行つて

佐賀中学校 3年 明神 吾流

僕が今回ニュージーランドに行つて一番心に残っている場所はやはりフェアフィールド中学校です。

ニュージーランドに行くまで僕はずっと英語をうまく話せるかどうか不安でした。でも、フェアフィールド中学校に行つてみんなフレンドリーに僕に話しかけてきてくれたのでそんな不安はいつの間にかなくなっていました。自分から話しかけるといふことが苦手なので相手の方からたくさん僕に話しかけてもらつてとてもうれしかったです。

帰つて来て思ったことですが、この研修の間、僕はもっと積極的になれば良かったと思います。ホームステイ先の家族との会話も中学校の生徒との会話もほとんど自分から話しかけたものではなかつたので、とても後悔しています。来年ニュージーランド研修に行く人は、僕みたいに後悔することのないよう行つて欲しいと思えます。



ニュージーランド研修

佐賀中学校 3年 森田 百貴

自分がニュージーランドへ行つて、学んだこと、驚いたこと、たくさん思うことがありました。とてもいい経験になりました。

この経験で気づいたこと、1つ目は、英語が国際的な言語だということです。自分のホームステイ先には韓国人の子もいましたが、英語を通じて友達になれました。多分それは韓国人だけでなく世界共通で使えるんじゃないかなと思いました。

2つ目は、英語をもっと勉強しようと思えたことです。実際、自分の将来の夢と英語はあまり関係ありません。でも英語を話すことによつて仕事の幅はとて広くなり、また、交流ももっと幅広くなると思いました。この経験は、自分の将来への大きな得となりました。研修へ行かしてくれた親、この事業にたずさわった方々に感謝します。

海外派遣事業に参加して

佐賀中学校 3年 山下 未来

私が海外派遣事業に参加して、いろんなことを学んだのですが、一番頭に残っているのは、「日本との文化の違い」です。

まず1つに、ホームステイ先で、お皿に洗剤をつけたまま布巾でふいていました。ニュージーランドは水をとんでも大事にしてると聞いていたのですが、ここまで大事にしているのかと思いました。

2つ目は、学校訪問で、休み時間にお菓子を食べていたことです。日本ではやらないことなので、思わず「えっ」と思いました。他にも、1回の授業時間が1〜2時間あったり、下校が午後3時と、日本とけっこう違うので、ざん新だったし、驚きました。

ニュージーランドに行くにあたつて、英会話が一番不安だったので、英語が不安だったのですが、ホームステイ先の人々が、単語で区切ってゆっくり話をしてくれてほつとしました。もし、またニュージーランドに行く機会があれば、ぜひ行きたいと思えます。

ニュージーランドを訪れて

大方中学校 3年 篠田 華蓮

初めは、不安でいっぱいでした。

英語が通じるのかな、ちゃんと向こうの生活になじめるかな、友達出来るかな、などを考えながらニュージーランドを訪れました。

でも、いざ行ってみると、ホストファミリーの方々や、学校の生徒さん達は、私をすごく優しく迎えてくれました。英語とか、私に分かるようにゆっくり話してくれたり、辞書を使って教えてくれました。

友達はたくさんできました。私はバス通学だったので、バスに乗ってくる生徒さんが話しかけてくれてすごく盛り上がりました。

この10日間で一番印象に残ったのは、不安だったことが全て消えて、楽しくニュージーランドの文化など学べたことです。

本当にニュージーランドに行けて良かったと思っています。もう一度行きたいです。行ってみんなに会って感謝の気持ちを伝えたいです。本当にありがとうございます。

海外派遣事業を終えて

大方中学校 3年 篠田 翔大

僕はこの海外派遣事業でニュージーランドへ行行って本当に良かったと思っています。

「完璧に英語を話せる」というわけじゃないけど、少しは勉強へのやる気も出てきたし、自分の英語力の無さをすごく実感しました。それに、ホームステイ先の人の温かさ

もすばらしいものだったし、ニュージーランドの学校のフエアフィールド中学校では、みんなが僕ら日本人に興味を持ってくれてやさしく接して

くれたから、うまく学校にもなじむことができました。

言葉の壁、日本語と英語の違い、



言葉の壁、日本語と英語の違い、

話せないんじゃないだろうかと思っていたけど、それほど難しく考えなくても知っていたる単語だけで十分やることができました。

本当に今回の体験は僕にとってすごくプラスになりました。また次の機会があればやってみたいです。

ニュージーランドに行つて

大方中学校 3年 竹本淳之介

僕が最初に思ったことは、英語をきちんと話せるかなあと

いうことと、日本とは違って季節が正反対で寒かったことです。

そして、一番心に残ったのは、ニュージーランドに住んでいるマオリ族という人たちの家らしきところに行つたことです。マオリ族のダンスなどを見て、すごく迫力がありました。

文化は日本とものすごく違い、慣れるのに大変でした。

またこのような海外派遣事業があったら行つてみたいと思います。そして、ニュージーランドで学んだ知識、文化などを伝えていきたいと思いました。次に外国などに行つた時には、この時よりも外国の人々に触れ合つていきたいと思えます。

ほんとうにニュージーランドに行つてよかつたと思つたので、来年、海外派遣事業に行つてみたいと思つている人がいるといいと思います。

ニュージーランドに行つて

大方中学校 3年 谷脇 翔太

僕がニュージーランドに行つて思ったことは、ニュージーランドの人たちはすごく優しく接してくれるし、明るい人が多いところだなあといいことです。山とかも寒いのに

緑がきれいで自然が多いところだとも思いました。

最初は英語を話すことができないので大丈夫かなあと心配していたけど、いろいろと接してくれたので話しやすかつたです。

ニュージーランドの文化であるマオリ族の人たちが昔から踊っている「ハカ」という踊りを見せてもらつて、僕はあんなに激しく踊つて全然疲れないのかと思いました。

僕はこのような体験を高校入試のために活かしていきたいと思えました。

またこのような機会があればニュージーランドへ行きたいです。



ニュージーランドに行つて

大方中学校 3年 宮川 大

僕は今回ニュージーランドに行くことが出来て本当に良かったと思っています。

最初はなかなか自分の英語が通じずくじけそうになりましたが、ニュージーランドの人たちが優しく話しかけてくれたので少しずつ理解できるようになってきたので、とても楽しく研修を終えることが出来ました。

文化の違いも努力して乗り越えることが出来ました。一番驚いたのは1日に5食も食べるということ。1食1食の量も多く、こんなに食べるおかげでこんなに体が大きくなるのだなあと、とても感心しました。

僕は今回、生徒代表としていろいろと経験させていただきました。初めは自分に代表が務まるのか、本当に自分

がいいのかとても不安になりましたが、副代表をはじめ、皆が良く協力してくれたので楽しく研修を終えることができました。

皆さん、ありがとうございます。

皆さん、ありがとうございます。